

2014 年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	総合政策学部	身分	教授
氏名	松野良一		
NAME	Ryoichi Matsuno		

1. 研究課題

(和文) 台湾二二八事件受難者家族の証言記録とアーカイブ化

(英文) The Recording and Archiving Testimonies of Victims' Families of Taiwan 228 Incident

2. 研究期間

1 年間

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度）

(和文)

1、研究の背景と目的

2011年9月に、台北駅の南にある「台北二二八事件記念館」において、中央大学の学生帽を発見したことがきっかけである。なぜ中大の学生帽が展示されているのか、その背景をさぐるために調査を開始した。その結果、台湾二二八事件における中央大学卒業生の受難者は、調査によって17名にのぼることが分かった。受難者家族にインタビューし、その証言を記録することを目的とした。

2、研究成果

17名のうち、8名の受難者家族の証言を記録することに成功した。8名の所在は、台北3人、高雄2名、台南1名、屏東1名、米国ヒューストン1名であった。またこのほか、基隆市社寮島で受難した沖縄県民についても、その家族の証言を記録することができた。調査研究の結果は、『中央評論』289号で特集「台湾二二八事件と中央大学卒業生」として刊行した。また、TBSメディア総合研究所紀要「調査情報」524号にて報告を発表した。さらに、『総合政策研究』（2016年3月刊行）にて、研究プロジェクトの最終レポートを掲載する予定である。

(英文)

I found a school cap of Chuo Univ. at Taipei 228 incident memorial museum in 2011, and started the research of the incident's victims. I succeeded to find the family who donated the cap, and also 8 victims' families and record testimonies.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

【学術論文】 （著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）
松野良一「台湾二二八事件受難者家族の証言記録プロジェクト」『総合政策研究』、2016年3月 (刊行予定)
松野良一「台湾二二八事件で犠牲になった日本人」『調査情報』、査読無、524号、pp74-77、 2015年5月
松野良一監修「台湾二二八事件と中央大学卒業生」『中央評論』289号、2014年11月
【学会発表】 （発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）
【図 書】 （著者名、出版社名、書名、刊行年）
【その他】 （知的財産権、ニュースリリース等）